

随時記者発表

その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

タイトル	感染性胃腸炎患者等の発生について		
区分等	発表		説明者
	資料配付	3月29日(金) 15時00分	
配付資料	別紙のとおり		
発表要旨	静内保健所管内の職員寮において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の集団発生が確認されましたのでお知らせします。		
報道に当たってのお願い	住民に対し、手洗いの励行、十分な栄養と休養をとり体の抵抗力をつけるなど感染予防の呼びかけをお願いします。		
担当	北海道日高振興局保健環境部静内地域保健室(北海道静内保健所) 健康推進課長 大西 由香里 保健係長 惣伊田 幸美 電話 0146-42-0251		

感染性胃腸炎患者等の発生について

平成31年3月29日(金) 15:00

北海道静内保健所
(北海道日高振興局保健環境部静内地域保健室)
TEL 0146-42-0251
FAX 0146-42-7202

平成31年3月28日(木)、静内保健所管内の職員寮において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 発生の探知

平成31年3月25日(月)に、静内保健所管内の医療機関から、同じ職員寮に住む複数の者が、腹痛、下痢、おう吐などの症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

2 発生の概要

静内保健所管内の職員寮の入居者32名が、3月21日(木)から3月25日(月)にかけて、腹痛、下痢、おう吐などの症状を呈し、うち32名全員が医療機関を受診し、治療を受けた。(入院した者はいない。)

3 現在の状況

3月29日(金)現在、症状は回復している。

4 経過

3月21日(木)～25日(月) 腹痛、下痢、おう吐などの有症者発生
25日(月) 医療機関から保健所に通報
26日(火)～27日(水) 保健所において、有症者のうち19名の便を検査した結果、16名からノロウイルスを確認

5 感染経路

現在調査中

6 対応

静内保健所では、当該施設の管理者に対し、入居者の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、北海道保健福祉部健康安全局地域保健課においても、資料配付を行っています。

報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中して発生するが、一年を通して発生がみられる。

主 症 状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(軽度)

潜 伏 期 間：24～48時間

経 過・予 後：通常3日以内で回復、予後は良好

【ノロウイルスによる道内の集団感染性胃腸炎の発生状況 3月29日(金)現在】

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
件数(件)	206	210	138	150	179	182	137	41
患者数(人)	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	2,849	821

*政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)